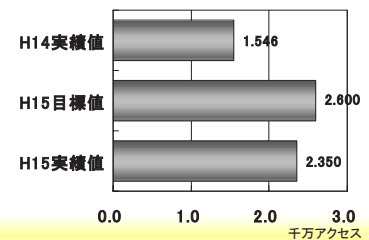


## ユーザーによりわかりやすい情報提供を！

伸び率は急上昇するも、目標には及ばず。。さらなる提供情報の充実を。



### (1) 指標の動向

■道路行政のアカウントビリティ向上のために重要な広報活動の評価をするため、本省(道路局)、地方整備局(10局、北海道開発局と沖縄総合事務局を含む)、国道事務所(107事務所、北海道は開発建設部)のホームページ(ホームページ及び携帯電話サイト)への合計アクセス数を集計する

■指標は、1,546万アクセスから2,350万アクセスへと1.52倍になったが、目標には届かず

■平成16年度は4,300万アクセス(1.83倍)を目標とする

### (2) 達成度報告(昨年度の成果)

■道路局ホームページを7年ぶりに全面リニューアル。対前年比は、1.58倍に

平成15年11月に道路局のホームページを7年ぶりに全面リニューアルした。道路行政評価サイト(道路IRサイト)、施策紹介に加え、「お役立ち情報」コーナーを設けた。対前年比は、1.58倍になった。

■「冬の道路情報」を開設。1月のアクセス数は道路局HPの中で3位

全国各地の積雪情報などの雪道に関する情報サイトを集めたリンク集である「冬の道路情報」を開設。平成16年1月6日～平成16年2月11日までのアクセス数は、21,000件(一日平均約568件)。なお、1月22、23日の北陸大雪で、2日間とも1,500以上のアクセス。

■ベンチマーク方式で前年比19倍のアクセスを記録した事務所も

ベンチマーク方式の導入により、全体の伸び率(1.52倍)の2倍の伸び率(3.04倍)以上の伸びを記録した事務所が、14事務所あった(全107事務所中)。

人口100人当りのアクセス数としては、北陸(74.1)、四国(62.4)、北海道(39.6)と地方部が多く、近畿(5.4)、関東(5.8)と人口の多い都市部が弱い。都市部について、お役立ち情報を充実させる必要。

### (3) 業績計画(今後の取組み)

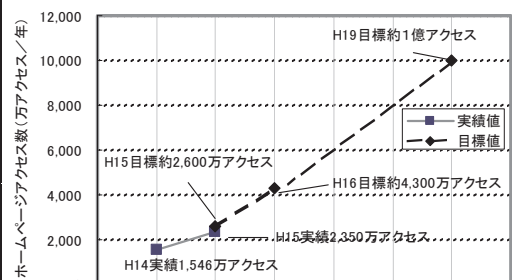
■ユーザーニーズの把握及びその反映

国民が道路行政に対してどのような情報を求めているのかなど、国民の情報に対するニーズを把握し、それらをホームページの構成、表現方法などさらなる充実に反映していく。

■ベンチマーク方式の実施

ホームページアクセス数を定期的に集計、公表することにより、各事務所が利用者ニーズの高い情報を提供しよう、競って工夫するよう働きかける。

平成14年度実績	1,546万アクセス	
平成15年度	実績	2,350万アクセス
	目標	約2,600万アクセス
中期的な目標	平成19年度までにインターネットを通じた情報サービスを国民1人あたり平均1回提供することを目指し、年間約1億アクセスとする	
平成16年度の目標	約4,300万アクセス	



担当：道路局 企画課 道路事業分析評価室

(1) 指標の動向

指標は、平成14年度の1,546万アクセスから2,350万アクセスに1.52倍に増加している。

機関別に見ると、各地方整備局合計で、全体の約93%を占めている。本省のホームページは約7%。ただし、伸び率では、地方整備局の1.52倍に対し、本省は1.58倍と大きくなっている。

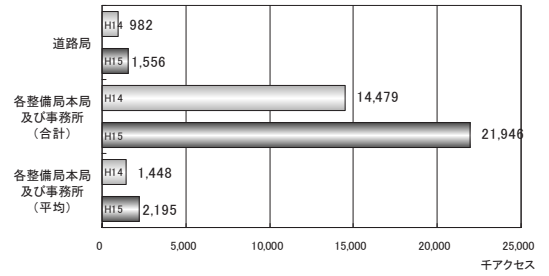


図17-1 機関別ホームページアクセス数

(2) 達成度報告 (昨年度の成果)

■ 全面リニューアルによる効果

平成15年11月に道路局のホームページを7年ぶりに全面リニューアルした。施策紹介のコーナー、道路事業の評価や予算に関する道路行政評価サイト(道路IRサイト)、施策紹介に加え、「お役立ち情報」コーナーを設けた。対前年比は、1.58倍になった。リニューアル前(10月)からリニューアル後(11月)は、1.15倍になった。



図17-2 リニューアルされた本省道路局のトップページ

■ 冬の道路情報の開設

全国各地の積雪情報などの雪道に関する情報サイトを集めたリンク集である「冬の道路情報」を開設。平成16年1月6日～2月11日までのアクセス数は、21,000件(一日平均約568件)。道路局ホームページの中で、1月のアクセス数は3番目。なお、一番アクセスの多かったのは、1月22、23日の北陸大雪で、2日間とも1,500以上のアクセスがあった。

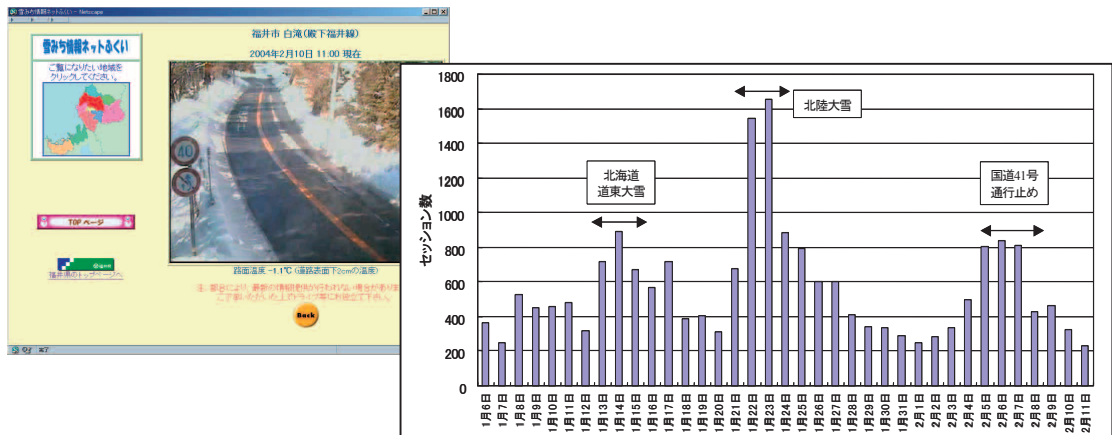


図17-3 「冬の道路情報」(リンク先の例:雪みち情報ネットふくい)と平成16年1月6日～2月11日までのアクセス数推移

■ IRコーナーでの評価

平成15年11月に、民間企業のIRサイトの格付け会社により、民間企業と同じ採点基準を用いて道路IRサイトの内容について外部評価を行った。道路IRサイトに対する評点は、83点満点で31点であった(上場企業の平均評点は28.6点)。しかし、提供情報のユーザビリティの配慮不足(PDF形式の情報提供の多用、ブロードバンドに対応した資料提供や動画配信への未対応)や、メール対応・質問受付等の点について、改善余地があると指摘された。

■ ベンチマーク方式の採用による事務所ごとのホームページの工夫

事務所ごとのホームページについて、アクセス及び管内人口あたりのアクセス数の実績を四半期ごとに集計、公表した。アクセス数の多い事務所は、冬季の路面や災害時通行止めなどの道路規制情報、バスの運行情報などユーザーのニーズに合致した情報を発信しているほか、携帯電話向けのサイトも開設している。実績をフィードバックする、いわゆるベンチマーク方式により、他の事務所の優れた点を導入、反映していく工夫が見られ、全体の伸び率（1.52倍）の2倍の3倍以上の伸び率を記録した事務所が、14事務所（全107事務所中）あった。

○高崎河川国道事務所（前年度比約19倍。85位から46位に上昇）

平成15年7月に全面リニューアルし、お役立ち情報を提供するとともに、ホームページを飾る写真を広く一般より募集し、トップページに掲載。

○奈良国道事務所（前年度比約6倍。67位から34位に上昇）

「名阪国道のライブ映像」を提供するなどの取り組み。



図 17-4 アクセス数が19倍になった高崎河川国道事務所と6倍になった奈良国道事務所のトップページ

■ 地方別のアクセス数について

人口100人当りのアクセス数としては、北陸（74.1）、四国（62.4）、北海道（39.6）と地方部が多く、近畿（5.4）、関東（5.8）と人口の多い都市部が弱い。都市部について、お役立ち情報を充実させる必要がある。

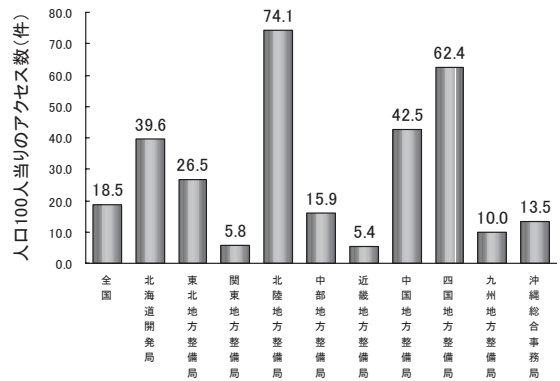


図 17-5 人口100人当りのアクセス数の各局比較

(3) 業績計画（今後の取組み）

■ 情報発信の明確化、国民の情報のニーズの反映

国民が道路行政に対してどのような情報を求めているのか、誰もが分かりやすい情報を提供するにはどのような形で情報を提供すればよいかなど、国民の情報に対するニーズを把握し、それらをホームページのコンテンツやサイトの構成、表現方法などさらなる充実で反映していく。さらに、インターネットを利用する中で、道路関係ホームページの発信する情報にアクセス可能となるよう、関係するホームページからのリンクや検索サイトへの登録等、ホームページへのアクセスを容易にする。

■ 各事務所のアクセス状況のフィードバック（ベンチマーキング手法）

ホームページアクセス数を定期的に集計、公表することにより、各事務所が利用者ニーズの高い情報を提供するよう、競って工夫するよう働きかける「ベンチマーキング手法」を今年度も継続していく。

(4) バックデータ

【伸び率】

対前年度比が3倍以上の事務所：14（高崎：19倍、奈良：6倍など）

【人口当りのアクセス数】

北陸・四国など地方部⇒大、近畿・関東など都市部⇒小

1) 本省・整備局・事務所別ホームページアクセス数 (1/2)

		HPアクセス数	対前年度比	人口100人当りHPアクセス数	順位	
総計		23,502,377	1.52	18.5		
本省道路局		1,555,815	1.58	-		
各整備局合計		21,946,562	1.52	-		
北海道開発局	本局(道路部)	1,364,914	1.84	-	-	
	札幌開発建設部	132,365	1.42	5.0	54	
	小樽開発建設部	62,909	1.21	23.9	17	
	函館開発建設部	95,232	1.20	18.4	25	
	室蘭開発建設部	61,140	1.74	11.7	33	
	旭川開発建設部	139,734	1.64	25.5	14	
	留萌開発建設部	38,535	2.04	58.5	5	
	稚内開発建設部	33,056	2.25	40.9	8	
	網走開発建設部	108,910	2.98	32.2	11	
	帯広開発建設部	121,476	2.95	33.9	9	
	釧路開発建設部	89,520	2.34	24.7	16	
	小計	2,247,791	1.82	39.6	4	
	東北地方整備局	本局(道路部)	1,350,948	3.30	-	-
		青森河川国道事務所	56,968	1.45	3.9	62
岩手河川国道事務所		141,454	1.14	13.3	31	
三陸国道事務所		29,197	1.27	8.3	39	
仙台河川国道事務所		212,451	2.08	9.0	38	
東北幹線道路調査事務所		9,605	1.55	-	-	
秋田河川国道事務所		102,768	2.20	17.0	26	
湯沢河川国道事務所		43,024	1.79	14.2	29	
能代河川国道事務所		74,370	3.69	26.6	12	
山形河川国道事務所		195,096	2.50	21.1	21	
酒田河川国道事務所		60,812	1.95	19.0	24	
福島河川国道事務所		220,654	0.74	42.6	6	
郡山国道事務所		62,215	1.55	6.0	49	
磐城国道事務所		45,592	1.43	8.0	41	
小計		2,605,154	2.05	26.5	5	

		HPアクセス数	対前年度比	人口100人当りHPアクセス数	順位
関東地方整備局	本局(道路部)	1,072,275	1.15	-	-
	東京国道事務所	76,580	1.52	1.0	82
	横浜国道事務所	69,775	1.40	0.8	86
	宇都宮国道事務所	23,655	1.66	1.2	79
	千葉国道事務所	45,696	1.77	0.8	87
	常陸河川国道事務所	39,750	8.52	1.3	78
	相武国道事務所	147,804	2.92	3.8	63
	大宮国道事務所	55,165	5.63	0.9	83
	高崎河川国道事務所	148,077	19.02	7.3	46
	長野国道事務所	346,616	1.33	19.3	23
	甲府河川国道事務所	43,887	1.41	5.0	56
	首都国道事務所	52,761	1.65	-	-
	川崎国道事務所	120,426	5.86	-	-
	北首都国道事務所	24,431	3.35	2.3	76
	常総国道事務所	34,307	1.14	-	-
	東京湾岸道路調査事務所	12,501	1.14	-	-
	東京外かく環状道路調査事務所	152,330	3.82	-	-
関東技術事務所	43,292	2.13	-	-	
小計	2,509,328	1.57	5.8	9	
北陸地方整備局	本局(道路部)	390,486	1.23	-	-
	新潟国道事務所	1,674,337	1.09	114.4	2
	長岡国道事務所	160,970	0.99	22.8	18
	羽越河川国道事務所	19,973	1.80	-	-
	高田河川国道事務所	124,988	3.42	41.0	7
	富山河川国道事務所	293,905	1.01	26.2	13
	金沢河川国道事務所	876,105	2.24	74.2	4
	小計	3,540,764	1.29	74.1	1
中部地方整備局	本局(道路部)	351,122	1.64	-	-
	多治見砂防国道事務所	73,341	1.40	15.5	28
	岐阜国道事務所	50,842	1.23	3.5	66
	高山国道事務所	1,093,854	1.17	644.6	1
	静岡国道事務所	62,131	1.07	2.5	70
	沼津河川国道事務所	85,722	1.35	-	-
	浜松河川国道事務所	42,703	1.37	3.3	67
	名古屋国道事務所	63,894	1.43	0.9	85
	愛知国道事務所	43,502	0.74	-	-
	名四国道事務所	116,340	1.32	-	-
	東海幹線道路調査事務所	34,039	1.50	-	-
	三重河川国道事務所	60,957	1.29	7.8	43
	北勢国道事務所	177,729	1.94	32.2	10
	紀勢国道事務所	48,885	1.40	9.4	37
	飯田国道事務所	156,487	4.08	22.7	19
	小計	2,461,548	1.35	15.9	6

2) 本省・整備局・事務所別ホームページアクセス数 (2/2)

		HPアクセス数	対前年度比	人口100人当りHPアクセス数	順位	
近畿地方整備局	本局(道路部)	487,836	1.35	-	-	
	福井河川国道事務所	36,473	3.31	4.4	58	
	滋賀国道事務所	53,075	2.16	4.0	61	
	京都国道事務所	73,078	1.75	3.2	68	
	福知山河川国道事務所	21,618	1.67	6.2	48	
	大阪国道事務所	88,878	2.13	1.0	81	
	浪速国道事務所	52,964	1.55	-	-	
	近畿幹線道路調査事務所	19,325	1.28	-	-	
	兵庫国道事務所	40,921	2.56	1.0	80	
	阪神国道事務所	44,645	1.26	-	-	
	姫路河川国道事務所	36,202	0.91	2.7	69	
	豊岡河川国道事務所	20,595	2.37	10.3	35	
	奈良国道事務所	149,063	6.22	10.3	34	
	和歌山河川国道事務所	27,406	1.60	3.5	65	
	紀南河川国道事務所	28,723	2.21	10.0	36	
	小計	1,180,802	1.69	5.4	10	
中国地方整備局	本局(道路部)	2,460,768	2.28	-	-	
	鳥取河川国道事務所	55,028	1.92	22.1	20	
	倉吉河川国道事務所	27,919	1.50	7.7	44	
	松江国道事務所	77,113	1.13	13.6	30	
	浜田河川国道事務所	37,560	0.75	19.4	22	
	岡山国道事務所	312,722	2.78	16.0	27	
	福山河川国道事務所	16,571	1.38	2.1	77	
	三次河川国道事務所	115,539	2.73	76.3	3	
	広島国道事務所	110,120	0.99	5.7	51	
	山口河川国道事務所	62,226	1.19	4.1	60	
	中国幹線道路調査事務所	12,522	2.97	-	-	
	小計	3,288,088	2.08	42.5	3	
	四国地方整備局	本局(道路部)	2,257,577	0.94	-	-
		徳島河川国道事務所	209,001	1.60	25.4	15
香川河川国道事務所		25,045	1.93	2.4	71	
松山河川国道事務所		27,976	4.95	2.4	74	
大洲河川国道事務所		17,028	1.72	5.4	53	
高知河川国道事務所		9,718	1.62	-	-	
中村河川国道事務所		10,069	1.22	7.5	45	
土佐国道事務所		37,275	1.49	5.5	52	
小計		2,593,689	0.99	62.4	2	
九州地方整備局		本局(道路部)	756,319	1.38	-	-
		福岡国道事務所	69,135	2.65	2.3	75
		北九州国道事務所	18,446	1.52	0.9	84
		九州幹線調査事務所	17,614	1.49	-	-
		佐賀国道事務所	21,241	1.48	2.4	72
	長崎河川国道事務所	36,671	1.12	2.4	73	
	雲仙復興事務所	31,809	1.01	-	-	
	熊本河川国道事務所	150,555	2.59	8.0	40	
	八代河川国道事務所	17,348	1.53	-	-	
	大分河川国道事務所	50,168	3.39	5.0	55	
	佐伯河川国道事務所	15,197	2.05	6.6	47	
	宮崎河川国道事務所	72,310	2.00	7.9	42	
	延岡河川国道事務所	12,585	1.25	4.7	57	
	鹿児島国道事務所	54,239	1.14	3.6	64	
大隅河川国道事務所	16,034	1.47	5.7	50		
小計	1,339,671	1.54	10.0	8		
沖縄総合事務局	本局(道路部)	102,813	4.57	-	-	
	北部国道事務所	29,673	3.75	12.6	32	
	南部国道事務所	47,241	2.56	4.3	59	
	小計	179,727	3.68	13.5	7	

※順位は人口100人当たりアクセス数による。

※対象は管理を行う事務所としている。

(改築又は調査を目的として管理を行わない事務所は、管内人口の比較が困難なため。)

※整備局小計の順位は整備局相互の順位である。